

第1志望校へは、推薦入試(特色選抜・指定校推薦・大学AO入試)も最大活用して入学しよう!

— 「志望理由書」「作文(論文)試験」「面接試験」に今から備えよう—

開倫塾

塾長 林明夫

Q 「推薦入試」を最大活用しようとは、どういうことですか。

A (1) 大学入試は、年が明けてからの大学入学共通テストと大学独自入試で合格する受験生も多いですが、実は年内に行われる指定校推薦入試や大学 AO 入試などの「推薦入試」で合格する受験生もたくさんいます。

(2) 都立高校や県立高校の高校入試も、2月・3月の一般入試で定員の約7割が合格し、約3割は言い方は異なりますが特色選抜や自己推薦などの「推薦入試」で合格します。(定員の1割の学校もあります)

(3) 開倫塾は、〈本格的進学塾〉として、すべての塾生の皆様がトップ校を含む「第1志望校合格」を目指すことを全面的にサポートします。ですから、大学入試・高校入試の「推薦入試」での合格も全面的にバックアップします。



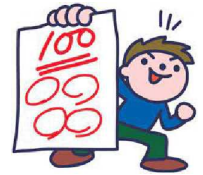
Q 大学入試・高校入試の「推薦入試」で1番大切なことは何ですか。

A (1) 1番大切なのは普段の「学校の全教科の成績」ですので、「定期試験」で「全教科100点満点」を目指すことです。

(2) 「推薦入試」では、学校で学んでいる「全教科」の平均点が学業成績として重視されますので、すべての学年での「全教科の定期試験」は「入学試験そのもの」と考え、1～2か月間かけて準備に真剣に取り組んでください。

(3) スタートが遅い場合は、睡眠時間を少し削ってでも机に向かってください。大事な定期試験前にゲームに夢中になるなど論外です。

(4) 大学の指定校推薦入試や大学 AO 入試は高1・高2の学校成績が重視されます。また、栃木県・群馬県・茨城県の特徴選抜などは中1・中2の学校成績も重視されますので要注意です。大学・高校ともに、「推薦入試」では3大検定も重視されます。



Q 「推薦入試」で2番目に大切なことは何ですか。

A (1) 「志望理由書」「作文(論文)試験」「面接試験」に1日も早く備えることです。

(2) 「大学推薦入試」は、高3生はもちろん高1・高2生も今から準備を。大多数の高校で定員の3割も合格する「高校推薦入試」は、中1・中2生から準備をスタートしてください。

(3) 実は、私立中学校入試や公立中高一貫校入試でも「志望理由書」「作文(論文)試験」「面接試験」があり、「学力テスト」で一定の成績が取れた場合、この3つは合否に大きく影響します。受験学年である小6生はもちろん、小3・小4・小5生の皆様もしっかり準備をしてくださいね。



Q それではお聞きします。大学入試・高校入試・私立中学校入試・公立中高一貫校入試などの「推薦入試」でそれほど大切な「志望理由書」「作文(論文)試験」「面接試験」の対策はいつから、どのように行えばよいのですか。

A (1)それらに最も大切なのは、「自分の力でよく思い考え」、「自分のことばでわかりやすく表現」することです。



(2)今すべての大学・高校・私立中学校・公立中高一貫校などで求められているのは、「自分の力で思い考える力(思考力)」と、自分で思い考えたことをわかりやすく伝えてコミュニケーションをする「表現力」だからです。

(3)付け焼刃(つけやきば)で、受験直前に何回か「推薦入試」の練習をしたのでは、模範的な解答例を覚えるだけです。そのため、何百名もの受験生に何十年もの長い間対応している試験官の共感や感動、この生徒をぜひ入学させたいという動機にはつながりません。自分の考えをしっかりと持ち、それを「志望理由書」「作文(論文)」「面接」で表現することが大切です。

*「模範的な志望理由書」を書き写して提出し、面接でそれを手にした試験官から、その学校を志望した理由を質問された場合にどう答えるか。想像してみてください。



Q 自分の力で考えるにはどうしたらよいのですか。

A (1)自分の今までの人生や生活を振り返り、何を大切なものとして考え、将来どのような人生や生活を送りたいのかを考えることが第1です。

(2)そのためには、どのような学校に進学をし、どのような仕事や社会的活動をし、どこでどのような生き方をすればよいのかを考えることが第2です。

(3)いろいろな機会を見つけて、いろいろな人と出会い、いろいろな経験をするにも挑戦。いろいろな本や資料を読み、読んでいて大切なことはノートにメモし続ける。新聞を毎日読み、自分の興味・関心のあることについての最新の情報を入手し、切り取って(または書き抜いて)スクラップブックに保存する。そして、自分のしたいことについての学びを深める。

(4)①それらを基礎に、「志望理由書」を何回も何回も書き直す

②過去の出題例(過去問)に沿い、毎週1回は「作文(論文)練習」を繰り返す

③過去の出題例(過去問)に沿い、毎週1回は「面接練習」を繰り返す

(5)そうすれば、5～6倍の倍率の「推薦入試」も必ず突破できます。

*挑戦あるのみです。頑張りましょう！まずは開倫塾の先生にご相談ください。



2021年5月10日(月)記